

令和7年度 第1回
沖縄県観光振興基金検討委員会

＜検討資料＞

令和7年5月29日
沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課

設置の経緯と目的

- 1 県では、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成を図るための取り組みを長期的、安定的に実施するために基金の創設を検討してきた。
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、感染状況や観光業界の実情に対応して機動的かつ柔軟に事業を実施する必要があることから令和4年度に設置したもの。

基金を活用して実施する事業

- 1 観光旅客の受入れの体制の充実強化
- 2 観光地における環境及び良好な景観の保全
- 3 観光の振興に通じる文化芸術の継承及び発展並びにスポーツの振興
- 4 地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行の促進

基金活用の基本的な考え型

- 1 既存の事業で充分に対応できない事業への活用
- 2 中長期的に実施する必要がある事業への活用
- 3 機動的、柔軟に実施する必要がある事業への活用

基金残高

- 1 令和4年度 40億円基金に積み立てている。
- 2 観光振興基金は取り崩し型基金となっている。
- 3 令和7年5月末現在の基金残高は、約28億円となっている。
- 4 令和7年度末の基金残高見込みは、約13億円となる。

基金を活用して 実施する事業

(沖縄県観光振興基金条例第6条)

〈基金活用の基本的な考え方〉

- ・既存の事業で充分に対応できない事業への活用
- ・中長期的に実施する必要のある事業への活用
- ・機動的、柔軟に実施する必要のある事業への活用

(第1号) 観光旅客の受入れの体制の 充実強化

観光客が快適に観光を満喫できる受入環境の整備や
利便性・満足度の向上に資する取組み

- 観光施設等の環境整備（ユニバーサル化等）
- 災害時等の観光危機管理
- 観光二次交通の利用促進
- 観光DXの推進、ICT環境整備（Wi-Fi、
キャッシュレス、ビッグデータ活用等）など

(第2号) 観光地における環境及び 良好な景観の保全

自然環境・歴史文化の保全、沖縄らしい景観に配慮し
た観光の推進に資する取組み

- 観光資源の活用・保全・継承
- 観光地景観形成
- 自然資源の利用ルール作り、周知
- 世界自然遺産等におけるガイド制度の普及、
観光客の入域管理 など

(第3号) 観光の振興に通じる文化芸術の継承 及び発展並びにスポーツの振興

独自の伝統文化やスポーツ等のソフトパワーを生かした多
彩かつ質の高い観光の推進に資する取組み

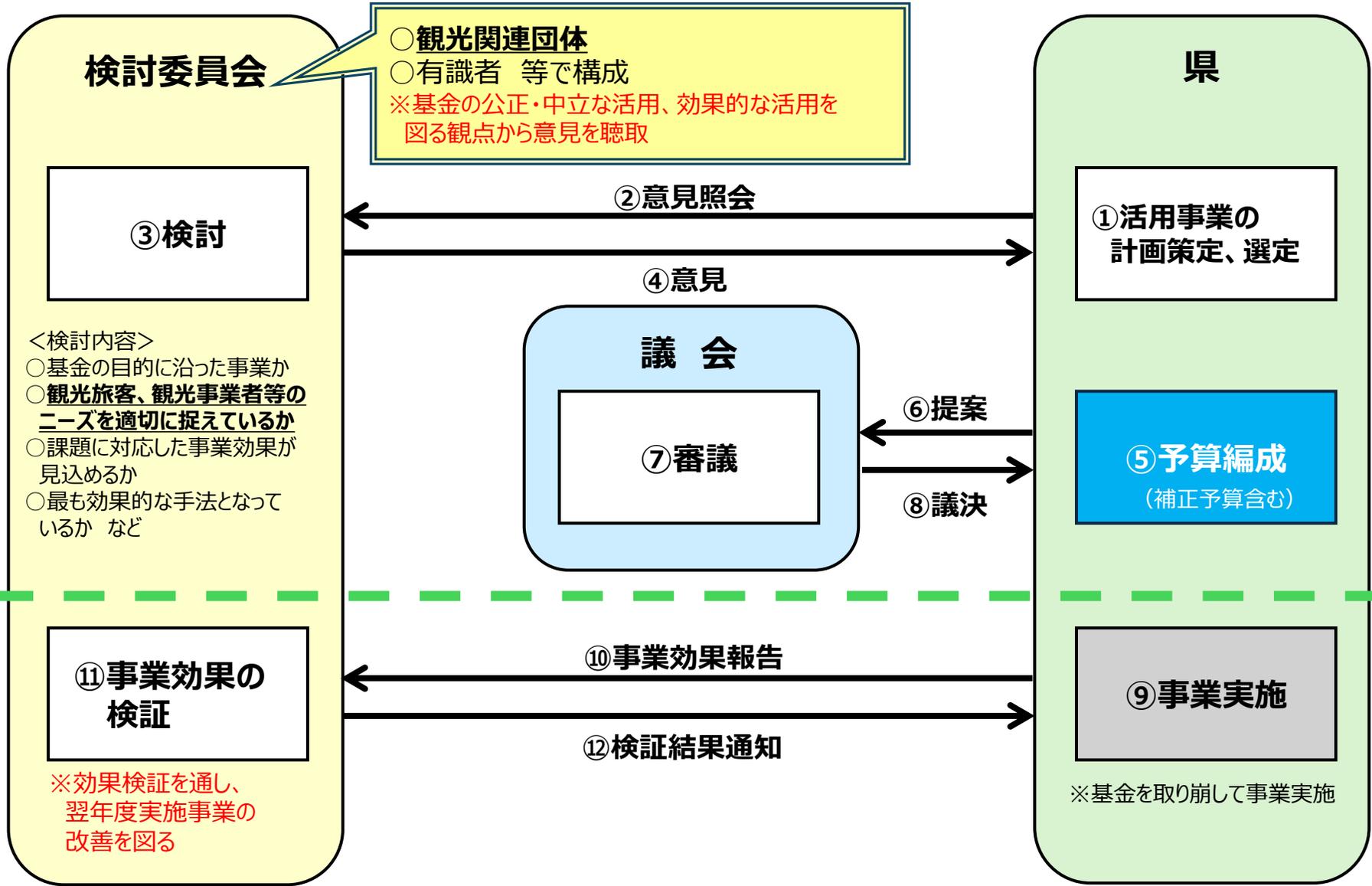
- 観光コンテンツの開発（伝統文化・芸能・空手・
琉球料理・泡盛・スポーツ）
- 文化芸術の発展を担う人材確保・育成
- 武道ツーリズム、スポーツツーリズムの推進
- 地域資源（伝統文化、プロスポーツ等）を
生かしたまちづくり など

(第4号) 地域社会の持続可能な発展を通じて 国内外からの観光旅行を促進

地域社会、経済、環境の3つの側面においてバランスの
とれた持続可能な観光施策を推進し、世界から選ばれ
る観光地を形成する取組み

- 観光客集中の緩和（分散化・平準化）
- 観光ルール作り（地域の文化、生活環境を
尊重する観光地マネジメント）
- サステナブルツーリズムの推進
- レスポンスブルツーリズムの推進 など

■ 基金を活用した事業実施までのプロセス



基金検討委員会

- 1 沖縄県観光振興基金を公平かつ公正、効果的な活用を図るため、学識経験者等から意見を聴取する会合として、沖縄県観光振興基金検討委員会を設置している。
- 2 次の事項に関する意見を委員会から聴取することとしている。
 - (1) 沖縄県観光振興基金の活用に関すること。
 - (2) 沖縄県観光振興基金を活用した事業の効果検証に関すること。
 - (3) その他、沖縄県振興基金に関する事項

委員名簿

	種別		所属・職名	氏名
1	有識者（観光）		琉球大学国際地域創造学部観光社会学研究室 教授	越智 正樹
2	有識者（環境）		琉球大学名誉教授	伊澤 雅子
3	観光関連団体	旅行業	沖縄JTB株式会社代表取締役社長執行役員	桂原 耕一
4	観光関連団体	宿泊	（一社）宿泊施設関連協会 沖縄支部副支部長	高倉 直久
5	観光関連団体	観光施設	（一財）沖縄美ら島財団 理事長	湧川 盛順
6	観光関連団体	観光・施設	内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室長	亀谷 匡哉
7	その他	文化	（同）琉球芸能大使館 代表	富田 めぐみ
8	その他	スポーツ	元名桜大学大学院国際文化研究科スポーツ健康学科 教授	平野 貴也

令和6年度 基金活用事業の決算額

決算額

- 令和6年度、観光振興基金を活用して実施した事業は、計15事業、決算額は7億2,582万2千円となっている。

(単位:千円)

	区分	事業数	予算額	決算額
1	観光旅客の受入れの体制の充実強化	9事業	760,699	576,015
2	観光地における環境及び良好な景観の保全	2事業	41,939	39,315
3	観光の振興に通じる文化芸術の継承及び発展並びにスポーツの振興	3事業	96,804	90,320
4	地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行の促進	1事業	28,406	20,172
	合計	15事業	927,848	725,822

【※参考】令和5年度決算額

- 令和5年度、観光振興基金を活用して実施した事業は、計11事業、決算額は3億7,236万1千円となっている。

	区分	事業数	予算額	決算額
1	観光旅客の受入れの体制の充実強化	6事業	406,683	280,564
2	観光地における環境及び良好な景観の保全	1事業	14,388	14,153
3	観光の振興に通じる文化芸術の継承及び発展並びにスポーツの振興	3事業	95,439	65,660
4	地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行の促進	1事業	11,984	11,984
	合計	11事業	528,494	372,361

令和7年度 基金活用事業

令和7年度当初予算（案）

- 令和7年度（当初予算）の基金活用事業（案）は新規6事業、継続12事業、計18事業となっている。

	区分	新規	継続	合計
1	観光旅客の受入れの体制の充実強化	5事業	6事業	11事業
2	観光地における環境及び良好な景観の保全	0事業	2事業	2事業
3	観光の振興に通じる文化芸術の継承及び発展並びにスポーツの振興	0事業	3事業	3事業
4	地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行の促進	1事業	1事業	2事業
	合計	6事業	12事業	18事業

【※参考】令和6年度予算事業

- 令和6年度予算の基金活用事業は新規4事業、継続11事業、計15事業となっている（補正予算を含む）。

	区分	新規	継続	合計
1	観光旅客の受入れの体制の充実強化	3事業	6事業	9事業
2	観光地における環境及び良好な景観の保全	1事業	1事業	2事業
3	観光の振興に通じる文化芸術の継承及び発展並びにスポーツの振興	0事業	3事業	3事業
4	地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行の促進	0事業	1事業	1事業
	合計	4事業	11事業	15事業

令和6年度 基金活用事業の効果検証（効果区分と判定基準）

事業効果分と判定基準

事業効果については、基本、成果目標の目標値に対する対応状況（実績値÷目標値）によって効果を判定する。ただし、成果指標の達成状況以外に、その他、特筆すべき事項があれば、これを記載し、これを加味した上で、最終事業効果を判定する。

最終区分	詳細	判定基準
事業内容が基金の設置目的や活用目的を実現するために有効であった	①非常に効果的であった (成果指標100%以上達成)	事業内容を確実に実施し、活用目的に対して大いに成果が得られたとみなせる場合
	②相当程度効果があった (成果指標80%以上～100%未満)	事業内容をほぼ実施し、活用目的に対し概ね成果が得られたとみなせる場合
	③効果があった (成果指標70%以上～80%未満達成)	事業内容の実施状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも活用目的に対して状況が前進・改善したとみなせる場合
事業内容が基金の設置目的や活用目的を実現するために有効ではなかった	④あまり効果がなかった (成果指標40%以上～70%未満達成)	事業内容を実施したものの、活用目的に対する状況が前進・改善したとは言い難いような場合
	⑤効果がなかった (成果指標40%未満)	事業内容を実施したものの、活用目的に対する状況が前進・改善しなかった場合

令和6年度 基金活用事業の効果検証（自己評価）

事業の自己評価

	評価	事業数	備考
1	非常に効果的であった	6事業	<ul style="list-style-type: none"> ・那覇空港観光2次交通対策事業 ・修学旅行等貸切バス受入体制強化事業 ・サンゴ礁保全再生活動促進事業 ・世界自然遺産地域活動支援事業 ・しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業 ・新たなアクティビティを活用したスポーツツーリズムコンテンツ創出事業
2	相当程度効果があった	4事業	<ul style="list-style-type: none"> ・マリンレジャー事故防止調査対策事業 ・観光人材確保支援事業 ・MICE受入体制強化等事業 ・空手ツーリズム受入体制構築事業
3	効果があった	4事業	<ul style="list-style-type: none"> ・観光2次交通利用促進事業 ・観光2次交通結節点機能強化事業 ・災害時等観光客避難支援事業 ・サステナブルツーリズム推進事業
4	あまり効果がなかった	0事業	
5	効果がなかった	0事業	
	合計	14事業	

※基金事業は、予算事業では計15事業となっているが、1事業は基金の運営費（検討委員会に係る費用）となっているため、効果検証を行う事業は14事業となっている。